



第126号 東海美術連盟ニュース
発行日：令和6年9月1日
発行責任者：安久則

雨の植物公園の日帰りスケッチ会

仲支部副理事 山本 啓子

新緑が萌えるような季節になりました。
5月2日の日帰りスケッチ会は参加者は15名で東海村社会福祉協議会のバスに乗り、雨の植物園に向けて出発しました。
水戸市植物公園は昭和62年に開園、イタリア式の手法を取り入れた洋風庭園です。
朝からの強い雨でしたが昼頃には小雨になり植物公園を見学することができました。
ロックガーデン・湿生花園、熱帯植物園さらに水戸養命油薬用ハーブ園などを散策しました。
咲き誇る花々、木々の隙間から見える風景スケッチを楽しみました。
午後から天気予報では大雨になるとのことなので

早めに帰ることに致しました。社協のバスの運転手さんお世話になりました。
皆様のご協力のおかげで楽しいスケッチ会になりました。



雨ニモマケズ 全員集合!! 雨もまた楽し!!

夏休み子ども作品教室に参加して

事務局 川崎 春江

7月26日(土)、東海文化センター大会議室で夏休み子ども作品教室が開催され、私も講師として参加しました。ピンチヒッターで初めて参加した昨年は、当日渡された各小学校の課題資料に慌てて眼鏡を出すも、内容が頭に入らず、おろおろするばかりでした。それでもベテランの先輩方に教わりながら何とか1日を終えた次第です。
今年は、前日の会場準備の時に資料が配られ前もって読むことができました。当日には子どもたちが描きたい課題などの情報が記入された青いカードでサイズのまちがいなどのリスクがないようになり、私達講師は非常に助かりました。
子どもたちはそれぞれに個性があって、それが絵に出ていて興味深く、私にとってもとても楽しい時間になりました。
最後に2年生の男の子が、駆け寄ってきて「楽しかったと言ってくれた時には驚きながらも「こちらこそ、あ

りがとう」と返しました。この男の子は4つ切りの画用紙に描いていましたが、この大きさではむずかしいようで手が止まっていた。ならばとポスターとしての出来は度外視して「食べたいもの描いちゃおうか」と声を掛けてみたら、それだけで「だんだん楽しくなってきた」と気分が上がったようです。
あわよくば、これをきっかけに絵を描くのが好きになってくれればいいなと淡い期待を抱いてしまいました。



子ども達のエネルギーに圧倒の熱い1日

東海村芸術祭 2024

理事長 安久則

5月12日(日)～6月9日(日)にわたり東海村芸術祭2024が開催されました。
美術連盟は順番で展示部門最後の6月2日(日)～6月8日(土)までの期間で開催され、作品44点(昨年度46点)を展示し、例年同様の500人強の皆様に鑑賞して頂きました。芸術祭全体の来場者ですが、展示部門は昨年度同様の2,000人弱、芸能部門は合唱、ダンス部門等が頑張った昨年度の1,800人から2,250人と増加したそうです。実行委員会としては大成功ですネ。展示作業、当番他ご協力頂いた皆様に改めて

感謝申し上げます。人物画が一階に集まってしまったり反省点がいくつかありましたので、確実に次回に反映していきたいと思えます。
さて、私、美術連盟に加入させて頂いて丸5年ですが、その初心者が見ても近頃「上手になったなあ」と思う方が何名もおられます。「とにかく描きまくれ」と自分に活をいれてはおりますが?
なお、来年度の美術連盟の展示は一番最初の5月初旬になるかと思えますので、そのつもりで制作に励んで頂ければ幸いです。



展示風景 2F



展示風景 1F

裸婦デッサン会

南支部理事 栗原 豊

梅雨も明け、酷暑が続く7月24日、25日に北村美術からのモデルさんを迎えデッサン会が行われました。
参加者は初日29名と東海文化センター大会議室も狭く感じられるほど。2日で述べ51名が、それぞれ熱心に取り組んで画材を持ち寄り、モデルさんの周りに自分のスペースを確保するのにおおわらわ。
参加者が更に誘い合い、今年は非会員の参加者が10名を数え、全体に占める割合が例年になく多かったように感じられました。今年は若い人の参加もあり、拡がりを感じられ嬉しく思いました。
デッサンは鉛筆、水彩、油彩、パステルなど多岐に亘り、日常描いている画材とは違うと思いますが、それぞれ熱心に取り組んでおりました。
デッサン会は1日中、集中してモデルさんと向き合うのでとても疲れますが日常と異なり変化もあり、有意義な時間であったと思います。これでデッサン

力の向上を実感できれば良いのですが、私など途中での手直しも多く、まだまだのようです。でも、その気付きは重要だと改めて感じました。
今年は南支部が担当しましたが、支部会員が少なく他支部、事務局の皆さん、また、文化センター事務所の協力を得て実施することができましたことを感謝申し上げます。



どこか、おかしいところがないか、声をかけて見てもらう

公募展だより

入選・入賞おめでとう!

第55回 水戸市芸術祭 美術展覧会/5.28~6.7水戸芸術館



日本画 現代美術センター賞
「月下美人」
川崎 志保



彫刻 優賞(水戸市教育委員会教育長賞)
「SEVENTEEN」
関根 幸雄



洋画
「ルワーブを奏でるウイグルの古老」
鴨志田 範夫



版画
「千波湖畔橋」
内田 昌弘



洋画
「SARABA ZASHIKIWARASHI」
齋藤 七重



洋画
「憧れ」
川崎 千恵子



東支部

木梨 るみ子さんに Tea タイム

- Q 絵を始めるきっかけは?
- A 創作人形を作っていた頃、色の勉強をしてみたいと思い始めました。
- Q 日展入選おめでとうございます。今回の作品のモチーフにバスを選んだのはどんなところからでしょうか?
- A 日展に何回か挑戦して、入選するには誰も描かないモチーフをとアドバイスがあり、試行錯誤していた時、長い年月放置されたバスになんとなく感じるものがあり、挑戦してみました。お陰様で運良く入選することができました。
- Q ずっと絵を描き続けるためにも、心がけている健康法などは?
- A 慢性的な痛みが背と肩にあるので、朝布団の中で手足を動かし、風呂上がりに全身のストレッチをしています。
- Q アクティブに作品を描かれています、どのように描く時間を工面をしていますか?
- A 毎日家事や畑仕事に追われていますが、この歳になると、体力がなく、昼寝もしつつ描ける時間に集中して取り組んでいます。
- Q 海外にスケッチに行くそうですが、忘れられない思い出などお聞かせください。
- A 観光地や、絵はがきのようなところでなく、中世の街並

みがそのまま残っている治安の良い小さな村2ヶ所に5泊ずつ滞在します。好きな時に出かけ好きな時間にホテルに戻り、自分のペースでスケッチできます。

スケッチの出来は別として、日常の忙しさを何もかも忘れ至福のひとつを過ごせたことが一番の思い出です。

- Q 他に皆さんにお伝えしたいことがありますか?
- A 絵のお陰で、仲間の皆さんと集まって、コミュニケーションがとれることが幸せです。



白い壁には自分の作品を飾っています



Information

第60回日立市美術展覧会(日本画/洋画/彫刻/工芸美術)	9月7日(土)~9月15日(日)10:00~17:00	日立シビックセンター・マーブルホール
アートロード研修会	9月12日(木) 石神コミセン駐車場7:30分出発	【希望会員・非会員】
(角川武蔵野美術館、所沢航空発祥記念館)		
研修会・合評会	9月25日(水)(担当:事務局) 9:30~11:30	中央公民館 【連盟会員】
第36回新構造茨城作家展	9月22日(日)~9月28日(土) 10:00~18:00	東海ステーションギャラリーA【石山・高橋・門前他】
茨城県芸術祭美術展覧会	10月2日(水)~10月14日(月)10月8日は休館日 9:30~17:00	ザ・ヒロサワシティ会館・近代美術館
第70回記念一陽展	10月2日(水)~10月14日(月)10月8日は休館日 10:00~18:00	国立新美術館 【北沢】
ひたちなか美術展覧会	10月22日(火)~10月27日(日) 9:00~17:00	ひたちなか市文化会館
東海村文化祭	11月2日(土)~11月4日(月) 9:00~17:00	東海村総合体育館 【文化協会会員・一般】
第96回新構造展	11月27日(水)~12月9日(月)12月3日は休館日 10:00~18:00	国立新美術館【石山・高橋・門前他】
温故知新展Ⅲ それぞれの視点	12月1日(日)~12月7日(土) 9:00~17:00	東海ステーションギャラリーA【棚井・川崎(志保)・北沢・河野(恵)他】

お知らせ

東海美術連盟50周年にむけて

- ◎ 令和7年は東海美術連盟創立50周年の記念の年になります。したがって、記念事業に向けた実行委員会を発足し、検討を始めましたので会員の皆様にもご協力よろしくお願ひします。

作品を展示してください

- ◎ 中丸小学校から文化協会を通して絵画作品等の展示要請がありましたので、お声がかかりましたら作品の展示にご協力をお願いいたします。